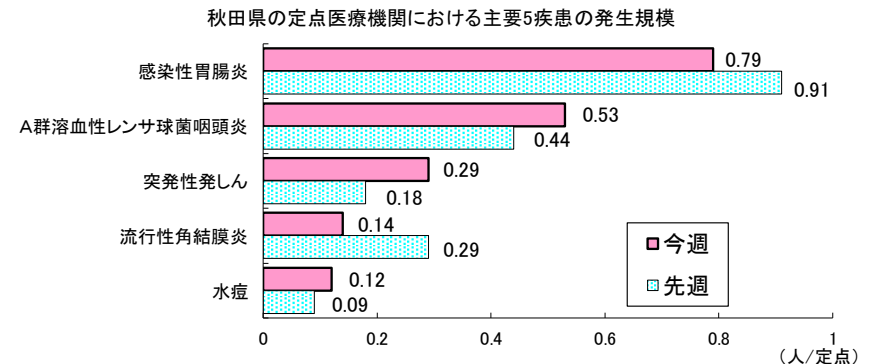




【第41週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で13%減少しています。保健所別では、秋田市、大仙、横手で増加、能代で同規模、大館、北秋田、秋田中央、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、大仙で増加、秋田中央で同規模、大館、能代で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で1.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、大仙、横手、湯沢で増加、秋田中央、由利本荘で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減			
RSウイルス感染症	0.06	0.09	↗		0.14	↗				1.00	1.00																			
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06		↘	0.14		↘															0.25		↘							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	0.53	↗		0.29	↗	2.75	2.50	↘		1.00	↗	0.33		↘	0.75	0.75					0.25		↗						
感染性胃腸炎	0.91	0.79	↘	1.43	1.57	↗	0.75	0.50	↘	0.50		↘	1.33	1.33		1.75	1.25	↘				0.25	0.50	↗		0.33	↗			
水痘	0.09	0.12	↗	0.14		↘															0.50	↗	0.25	0.50	↗		0.33	↘		
手足口病		0.03	↗					0.25	↗																					
伝染性紅斑	0.03	0.03														0.25	0.25													
突発性発しん	0.18	0.29	↗	0.29	0.43	↗		0.25	↗		0.50	↗		0.33	↗	0.50		↘			0.25		↘		0.25	↗	0.33	0.67	↗	
ヘルパンギーナ	0.06		↘										0.67		↘															
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.33	0.33					*	*		*	*		*	*					1.00		↘			*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大仙保健所管内から2人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が北秋田保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)が秋田市保健所管内から1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が大仙保健所管内から1人、水痘(入院例に限る)が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-40週		41週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	11935	59	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	2473	18	2
	腸チフス			
	パラチフス			
四類	E型肝炎	345		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	57		
	エキノコックス症	21		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	98		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-40週		41週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	141	1	
	デング熱	5		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	352		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	19		
	野兔病			
	ライム病	19		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1550	17	1
レプトスピラ症	24			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	410	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	150	2	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1464	25	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	17		
	急性脳炎	259		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	138		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	471	3	
	後天性免疫不全症候群	794	1	
	ジアルジア症	29		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	149	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1022	8	
	水痘(入院例に限る)	209	3	1
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5632	33	
	播種性クリプトコックス症	109		
破傷風	75			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	94			
百日咳	469	4		
風しん	10			
麻疹	4			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	3			
* 新型コロナウイルス感染症		1744	1	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<ロタウイルスによる感染性胃腸炎について>

ロタウイルスは、乳幼児における胃腸炎の主要な原因ウイルスです。ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、他のウイルス性胃腸炎と比べて症状が重くなる傾向にあります。特に初めて感染した時には症状が強くなることもあるため、注意が必要です。

■ 症状など

感染力が非常に強く、5歳までにほぼすべての子どもが感染するといわれています。主な症状は水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛です。脱水症状が重い場合は入院が必要になることもあります。また、合併症としてけいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあります。

■ 予防対策

ロタウイルスによる感染性胃腸炎の重症化を予防するにはワクチンが有効です。予防接種は定期接種の対象となっており、初回接種は生後6週から14週6日までに受けることが推奨されています。予防接種に関するご相談は、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。

日常生活においては次のことを心がけ、衛生管理をしっかり行いましょう。

- ・手洗いを励行する。
- ・嘔吐物等は速やかに塩素系漂白剤で消毒し、後始末をする。
- ・乳児のオムツ交換は手袋を付けて行うようにし、使用済みオムツはビニール袋に密閉して捨てる。
- ・手すりやドアノブなど、手で触れる場所はこまめに塩素系漂白剤で消毒する。

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症1件、かぜ様症状2件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児	職員	計		
RSウイルス感染症	北秋田市	認定こども園 しゃろーむ	10/11	125名のうち 27名	41名のうち 0名	27名	10/5 ~ 10/11	発熱、咳
かぜ様症状	大仙市	四ツ屋こども園	10/12	88名のうち 18名	22名のうち 0名	18名	10/8 ~ 10/12	発熱、咳、咽頭痛
	五城目町	もりやまこども園	10/14	147名のうち 70名	40名のうち 0名	70名	10/8 ~ 10/13	咳、鼻水



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		